

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所 クライアント様倉庫内

実施日程 月曜日から金曜日の平日毎日

実施した生産活動・施設外就労の概要

返品業務：口座戻し・改装取り、スポット業務等

利用者数 等 一日あたり延べ6～12名

<目的>

地域連携活動のねらい 地域にとってのメリット

地域連携先となる施設外就労先企業へ業務及び作業者を提供することで
企業の事業貢献と地域の発展へ寄与することを目的とする。

対象者にとってのメリット

倉庫内作業のみならずフォークリフトも移動する労働環境など、一般就労を
目指すキャストにとっては多様な経験を得る機会となっている。

<成果>

実施した結果 得られた成果

請負3年目となり、施設外就労先として安定した人員を投入できる信頼関係を
企業と構築することができた。

当該就労のおかげで自信を付けたキャストが複数人一般就労に至った。

またピアスタッフの位置づけとして配置リーダーを任命し、就労させることで
マネージャーの育成場所として役立てることができた。

課題点 一人配置への不安は払拭に至らず、今後に向け検討を続ける。

<活動の様子>

活動の様子の写真

成果物の写真



活動内容の追加コメント

一般就労へ導くための訓練という観点からすると、チームワークや現場ルールの
遵守、安全面を考慮しながら労働効率を図るといった複合的な仕事要素があり、
引き続きクライアント様のお役に立ちながら今後もさらに増員できる機会を
うかがいたい。

連携先の企業等の意見または評価

スタッフの方々には、弊社の指示通りに働いて頂き、業務を支えてもらっている。

現在は、返品業務を主として頂き、日々返品の口座戻し、改装取りのフォロー、スポット業務に
従事してもらっている。また、急な増員の依頼にも柔軟に対応して頂いている。

今後は、良品出荷の方でも活躍していただくことが出来ないか、仕事のやり方を考えてみたい。

また、現在は出版専門の当センターでしか働いてもらっていないが、弊社他営業所、他ジャンルの
職種にも力を貸して頂く、また出来ることが無いか考えてみたい。

連携先企業名

京葉流通倉庫株式会社

担当者名

川田剛士